

## 八工大と21あおもり産業総合支援センター

## 産業振興へ連携協定

八戸工業大（坂本禎智学長）と21あおもり産業総合支援センター（青森市、今喜典理事長）は28日、地域産業の振興と経済活性化に向けた連携協力協定を結んだ。青森県内中小企業のさ

まざまなニーズを、同大が保有する新たなアイデアや技術（研究シーズ）と結び付けることで解決し、イノベーションの創出につなげたい考えだ。

同大では、将来の技術革新につながる可能性を持つ多様な研究シーズを保有。同センターではこれまで、事業に課題を抱える企業が



協定を締結した今喜典理事長（左）と坂本禎智学長。28日、八戸工業大

らの相談を受け、同大などに問題を解決できる技術などがないか照会してきたという。今回の協定でセンターが事前に研究シーズを把握し、企業とのマッチングの迅速化が図られる。

同日は同大メディアセンターで協定締結式を実施。坂本学長と今理事長がそれぞれ協定書に署名した。今理事長は「イノベーションの創出支援は大きな課題だった。踏み込んだ支援をしていきたい」、坂本学長は「協定が企業振興や新たな産業の育成などにつながることを祈念したい」とそれぞれ述べた。

今後は、同大の番町サテライトキャンパス「ばんらぼ」（八戸市）を活用した研究シーズと企業とのマッチングイベントの開催などを予定している。（藤村大地）

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。

## デーリー東北

2023年(令和5年)7月29日(土曜日) (20)